

1、地層の作り方

(ち そう
地 層) とは 広がりをもった土砂や岩石の層

① (ふう か
風 化) … 岩石がもろくなり、くずれること。

風化の原因

気温の変化や風雨のはたらき

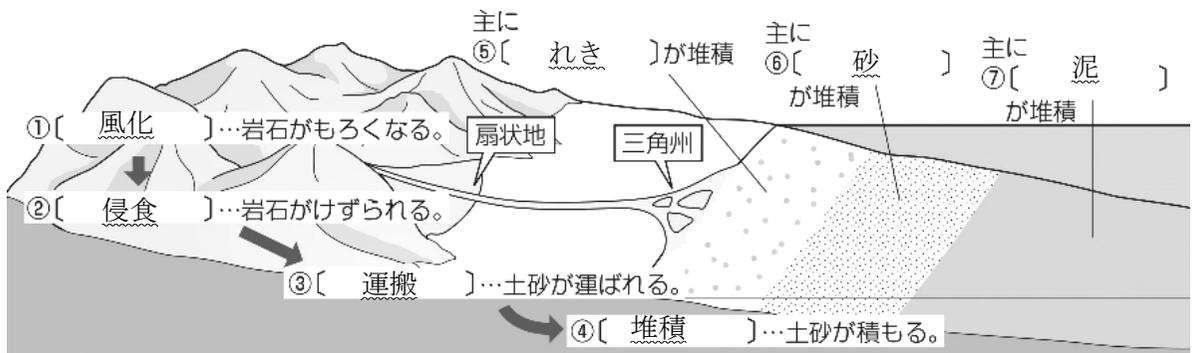


(りゅう すい
流 水) の3つの働き

② (しん しょく
侵 食) … 岩石がけずられること

③ (うん ばん
運 搬) … 水の流れて下流にはこぼれること

④ (たい せき
堆 積) … 流れがゆるやかになってところにたまること



堆積地形

川が山地から平野に出たところ…^{せんじょうち}扇状地



川が平野から海に出たところ…^{さんかくす}三角州



堆積のしかた

粒の大きさによって

← 2 mm ← → 1 / 16 (0. 06) mm →
 A (れき) B (砂) C (泥)

粒の大きさによる沈殿のしかた

粒の大きいものほど 早く沈む ので

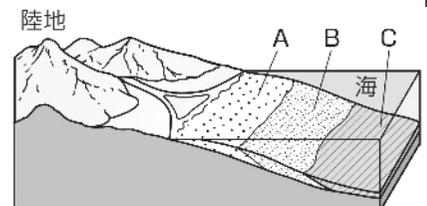
1 枚の地層の中では

下ほど粒がおおきくなる



河口からの距離のちがいで

海岸から遠いほど粒が小さい



堆積場所による地層の特徴

河口に近い地域

海岸から沖にかけて粒の大きさが異なる地層ができる

沖の深い海で堆積した地層

海底の土砂崩れによってできるので、下から上に砂から泥になる地層がくりかえされる。

はるか遠くの大洋の海底

海中のプランクトンのしがいなどによる地層ができる。